



東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)

平成23年3月11日午後2時46分頃、三陸沖を震源として発生した地震は、国内観測史上最大のマグニチュード9.0を記録し、東北地方を中心に津波と火災により多くの犠牲者が出ました
そして、今なお安否のわからない方々の捜索が懸命に行われています
また、難を逃れ避難所に避難されている被災者の方々も、物資や医療が十分に届かない場所で、不便な生活を余儀なくされています

天竜川上流河川事務所では、地震のあった翌日、**テック・フォース** 緊急災害対策派遣隊 **TEC-FORCE** を国土交通省東北地方整備局管内の被災地に5名派遣しました。また、14日には被災地における緊急対策支援として、一般社団法人「長野県南部防災対策協議会」と協働し、所有の緊急対策車両(排水ポンプ車2台、照明車2台)を現地に派遣しました。

16日には、災害対策車両の燃料を補給するためのタンクローリー1台と軽油ドラム缶を積んだクレーン付トラック1台を派遣し、計2,000リットルの燃料を現地に運搬しています。



災害対策車両車両操作員(交代要員)の皆さん(3月23日、出発前の様子)



現地に向けてAM4:30に駒ヶ根を出発しました(3月23日の様子)
中央道~上信越道~北関東自動車道~東北道を経由し、約9時間かけて被災地に到着しました

TEC-FORCE (テック・フォース) : 大規模自然災害が発生又は発生するおそれがある場合において、被災地方公共団体等が行う災害応急対策に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施することを目的とする防災組織

一般社団法人「長野県南部防災対策協議会」: 上・下伊那、木曾地方の建設業者70社で組織され、地震・大雨等異常な自然現象及び予期できない災害又は事故が発生した場合に対し、緊急的な応急対策等を実施するための協定を天竜川上流河川事務所との間で締結している一般社団法人

災害対策車両は、宮城県内(東松島市、石巻市等)で津波により住宅地や田園地帯に流れ込み湛水してしまった海水を川へ排水する作業を行っており、車両の操作要員を交代しながら、24時間体制で懸命に作業を続けています



ポンプ車による排水作業の状況



津波により海水が溜まってしまった水田(3月23日夕方の様子)

3日間の作業で水位が下がりました(3月25日夕方の様子)



地球全体で異常気象が騒がれている中、今後、今回のような大地震・大雨等により大きな災害が発生する可能性があります
いざと言う時に備え、各家庭内でも避難用品の用意、避難場所の確認を行われてはいかがでしょうか

昭和36年の大きな災害から今年で50年が経とうとしています
その間、村内のあちこちでは、村民の皆さんが安全に生活できるよう、砂防に係わる工事が行われてきました
小渋川砂防出張所では、本年度も村内の各地区において砂防工事を予定しています。工事を安全に円滑に進めるためにも、何卒皆様のご理解とご協力をお願い致します



天竜川上流河川事務所 小渋川砂防出張所
TEL 39-2301
FAX 39-2460



【三六災害50年ロゴマーク】